

アドバイスレポート  
(別添4)

日時：2019年11月14日(木)

C 外来：救急外来



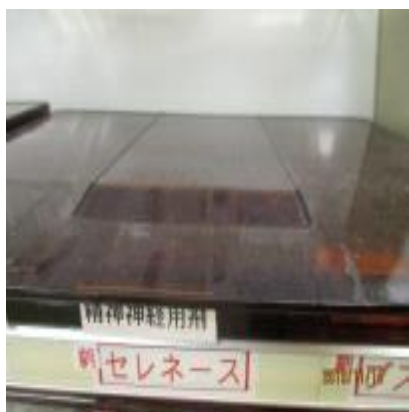
① 問題となる点

診察室の机のすぐ傍に感染性廃棄容器が設置されていました。

② 改善するためのアドバイス

スペースの確保が困難な構造ではありましたが、感染性のものを廃棄する際に環境に汚染を拡げることや、曝露する等のリスクが懸念されます。

安全で衛生管理が可能なスペース確保をご検討ください。



① 問題となる点

薬品保管ケースの上部に埃が蓄積していました。

② 改善するためのアドバイス

無菌的に取り扱いが必要なものを収納しているケースですので定期的な清掃が必要です。



① 問題となる点

使用用途不明な段ボール箱がありました。

② 改善するためのアドバイス

紙製のものは、適切に洗浄ができず、段ボールは虫卵が付着している可能性があり、時間の経過とともに孵化するリスクもあります。撤去に取り組んでいるとのことでしたが、ぜひ習慣化されてください。



① 問題となる点

汚物槽のすぐ前や横に、使用中および未使用の感染性廃棄容器や各種ゴミ箱が配置され、安全に廃棄しづらい状況や、周囲へ汚染水の飛散リスクがあります。

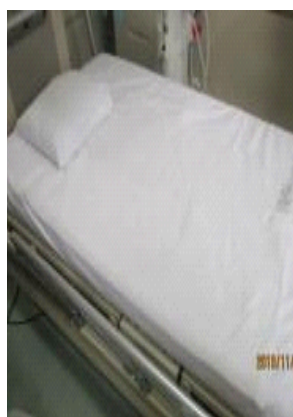
② 改善するためのアドバイス

未使用の感染性廃棄容器の在庫数見直し、保管場所を窓側の棚下にある空間スペース利用、飛散防止の遮へい板の設置などご検討ください。

C 外来：透析



透析室入口すぐに手洗い用シンクがあり、患者の手指衛生、シャント部の衛生管理に努めておいでる様子が伺えました。



① 問題となる点

シーツの上に敷いてあるシートは、患者専用としており、1か月で交換されるとのことでした。中には、血液様汚染がありました。

② 改善するためのアドバイス

透析環境下では、目に見えない血液汚染も多く、非常に感染のリスクが高い環境です。汚染時は、速やかに交換してください。交換頻度は、通常のシーツ同様1週間毎以上が望ましいです。



① 問題となる点

アーム上部に埃が貯留されていました。

② 改善するためのアドバイス

透析室は特に穿刺等侵襲的処置が多く、衛生的な環境整備が重要です。清掃する際に天井と平行になる部分にも注意されてください。



① 問題となる点

爪切りが一部錆びていました。

② 改善するためのアドバイス

爪切りは、洗浄・消毒が困難な物品ですので個人専用を使用することをご検討ください。ご持参いただくか、売店にて購入できるシステムにされることも工夫の一つかと思います。



① 問題となる点

アイスノン収納場所にペットボトルがありました。

② 改善するためのアドバイス

衛生管理上、医療物品と食品を同じスペースに保管しないように努めてください。



① 問題となる点

汚水層にあるブラシに水受けがありませんでした。

また、モップがかけられていました。

② 改善するためのアドバイス

水受けがないとブラシ使用後の水滴による汚染やそれによる細菌繁殖が懸念されます。モップにも汚染水がかからないように汚物槽から離れた場所での乾燥が望まれます。



① 問題となる点

患者に使用するおそらく止血用テープをあらかじめカットしてケース縁に貼っていました。

② 改善するためのアドバイス

塵や埃が付着し、汚染する可能性が高いです。

使用する直前にカットし、環境のあらゆるところに一時的に貼り付けず、直接患者の必要個所に使用してください。



① 問題となる点

内視鏡器材洗浄と職員手洗い用のシンクが共有され、蛇口も手指活栓でした。

② 改善するためのアドバイス

シンク周辺からの環境汚染リスクが高い状況がありますので職員用の手洗いシンク設置や蛇口の自動活栓への変更をご検討ください。



① 問題となる点

ペーパーホルダの直下に、カメラ拭き用のタオルが置かれていました。手洗い後の水が滴り、タオルが湿潤され微生物の温床となりやすい状況があります。

② 改善するためのアドバイス

壁に取り付けるなど配置場所の変更をご検討ください。



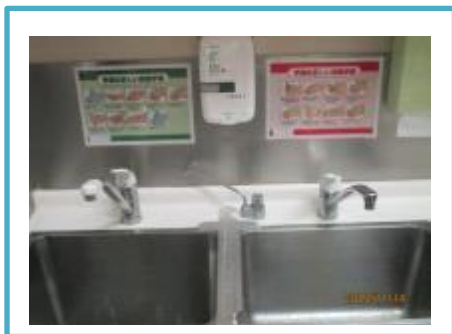
① 問題となる点

内視鏡収納庫の前に感染性廃棄容器が設置されていました。

② 改善するためのアドバイス

清潔物品を取り扱う際に清潔・不潔の交差のリスクが懸念されま  
す。感染性廃棄容器の保管場所をご検討ください

D 病棟



手洗シンク周囲は、不要なものがなく水滴もなく乾燥に努めていま  
した。



① 問題となる点

シンク上に未使用の環境クロス詰め替え  
製品が保管されていました。

② 改善するためのアドバイス

シンク周囲は水跳ねしやすく清潔物品を汚  
染する可能性があります。上の扉付き収納  
棚への保管に変更されると良いですね。

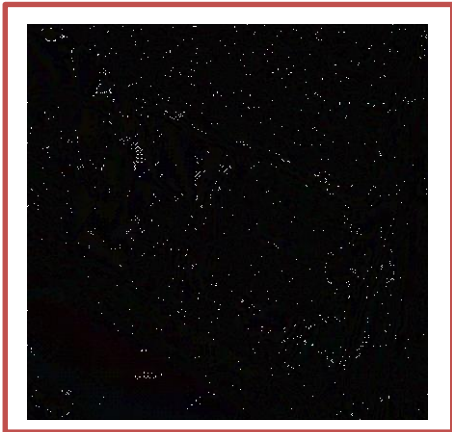


① 問題となる点

爪切りが一部錆びていました。

② 改善するためのアドバイス

爪切りは、洗浄・消毒が困難な物品ですので個人専用を使用す  
ることをご検討ください。ご持参いただくか、売店にて購入できる  
システムにされることも工夫の一つかと思ひます。

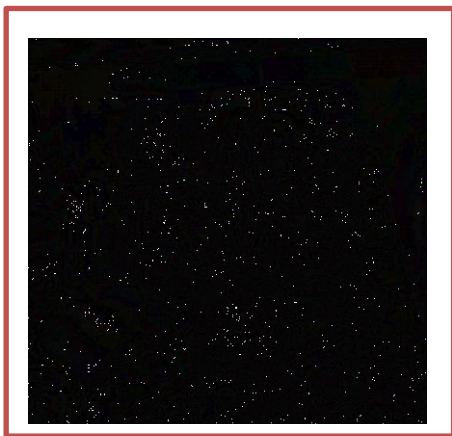


① 問題となる点

滅菌製剤を収納している棚が木製で汚染がみられました。

② 改善するためのアドバイス

木製製品は洗浄・消毒しにくい材質で汚染を除去しにくいものです。滅菌物を収納するには、洗浄ができる素材や拭ける素材の棚や容器への保管変更をご検討ください。



① 問題となる点

ミキシング台の引き出し内に輪ゴムでまとめてある注射針がありました。

② 改善するためのアドバイス

滅菌保証の維持にも、注射針に限らず滅菌物の輪ゴム分別は避け、摩擦による破綻を防止していきましょう。



① 問題となる点

ミキシング台の吊り下げポールに埃が溜まっていた。

② 改善するためのアドバイス

無菌操作が必要なスペースですので、台を清拭する流れで日常的に消毒清拭を行っていきましょう。

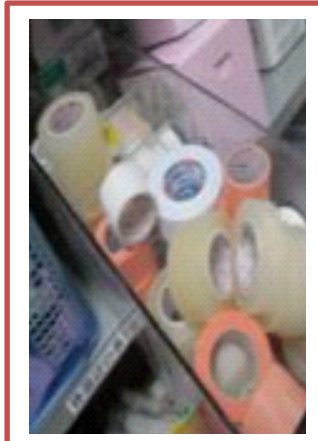


① 問題となる点

急性期一般病棟のミキシング台の前に、引き出し位置にかかる大容量の一般ゴミ箱が配置されていました。引き出し開閉時はゴミ箱に触れミキシング者の手指汚染リスクが高まります。

② 改善するためのアドバイス

ゴミ箱へのサイズダウンが望まれますが、現状品を継続使用時するようでしたら、キャスターを取り付け、手を触れなくてもゴミ箱を移動できる工夫などをご検討ください。



① 問題となる点

不特定多数の患者に使用するテープ類は専用の保管スペースにありました。しかし、一部インスリン用の注射針類の上に混入しているものがありました。

② 改善するためのアドバイス

滅菌物と不特定多数に使用する物品を混在させないように決められた場所に正しく保管してください。



① 問題となる点

未使用の採血管やテープ保管容器などに、髪の毛混入、埃や汚れがありました。

② 改善するためのアドバイス

清掃を行いましょう。今後は環境汚染のリスク低減に向け、扉付き棚への変更、引き出しまたは蓋付容器への保管などもご検討されてはいかがでしょうか。



① 問題となる点

包交車の上段に衛生材料などが隙間無く置かれていました。また、先の尖った滅菌物が鋭と一緒立て置きされていました。

② 改善するためのアドバイス

滅菌物は破綻しないよう鋭とは別にして横置き保管とし、上段は前後の清拭が行いやすいように物は置かないことが望まれますので引き出し収納のある包交車をご検討ください。現状のワゴン使用するのであれば、設置可能な引き出しの準備をご検討ください。



① 問題となる点

多数の聴診器がマグネットフックに掛けられ、その重みで床下近くまで滑り降り、ベル部分が床に付いている聴診器がありました。

② 改善するためのアドバイス

重みに負けないよう安定性のあるものへ変更するか、マグネットフックを増量し掛けすぎを防止するか、個人ごとにジップロックなどに入れ保管するなど、衛生管理をご検討ください。



### ① 問題となる点

消毒容器の保管がシンクの縁に設置されていました。中身は十分に浸漬されていませんでした。

### ② 改善するためのアドバイス

蓋が付いているため、水跳ねによる汚染リスクは軽減されると思われますが、安定性の面から設置場所をご検討ください。

また、消毒物品は十分に浸漬して消毒する必要があります。洗濯ネットや落とし蓋等で浸漬する工夫をご検討ください。



### ① 問題となる点

畜尿瓶・陰部洗浄ボトルの乾燥器に汚染がみられ、機械のメンテナンスも定期的に行われていないようでした。

### ② 改善するためのアドバイス

尿路感染防止などの点から定期的な清掃と機械のメンテナンスを行うようご検討ください。



病室のシンクは、乾燥しており清掃もされて衛生的でした。PPE も必要な物品が設置してありました。



尿道留置カテーテルのバックは適切に管理されていました。緑のクリップを、病衣やリネン類に挟むことでカテーテルが固定されるため有効活用してみてください。





① 問題となる点

病室トイレのゴミ箱が、注射薬の空き箱を利用されていました。紙類は湿気をよび、床清掃時にモップ等が触れて汚染し、微生物の温床となってしまいます。

② 改善するためのアドバイス

洗浄ができる素材や拭ける素材のゴミ箱への変更をご検討ください。



① 問題となる点

製氷機の開閉部に汚染がみられました。

② 改善するためのアドバイス

製氷機はメンテナンスや清掃管理が必要で維持が非常に難しいものです。定期的なチェックと衛生管理が望まれます。

近年は、製氷機自体を撤去し、アイスノンで管理されている施設が増えています。その点も含め、ご検討ください。



① 問題となる点

滅菌物の収納棚の扉が開いていました。

② 改善するためのアドバイス

埃や汚染防止のため、必ず閉めておく習慣が望まれます。



① 問題となる点

吸引チューブが紙製の筒に収納されていました。

② 改善するためのアドバイス

紙製のものは、洗浄や清拭が十分にできず衛生的ではありません。滅菌物の収納は特に洗浄または清拭できる容器での保管が望まれますのでご検討ください。



### ① 問題となる点

保温タオル運搬用の発泡スチロールが劣化していました。  
また、汚染・劣化した木板の上に発泡スチロールが設置されて  
いました。

### ② 改善するためのアドバイス

発泡スチロール・木製物品は、洗浄・消毒が困難なため洗浄や  
清拭可能な材質のものに変更されることをご検討ください。



検体運搬容器が蓋つき、半透明、仕切れるタイプに変更されていま  
した。感染対策上必要な条件への変更であり、運用に問題がなければ、  
旧式のもの（ピンク色の容器）は、撤去されてはいかがでしょうか。



汚染リネンは、専用の保管庫に適切に管理されていました。

## G 感染経路別予防策



感染対策マニュアルに取り決めている“感染症マークの表示”に従い、  
接触感染対策が必要な多床室の1名の患者さんでしたが、ベッド  
サイド入口に適正に表示されていました。

